

Fiorano®

**Fiorano SOA プラットフォーム
コマンド ライン ツールによる
コンポーネント フローの操作**

対象バージョン : 2007 SP7 および 9.0.0

はじめに

このガイドブックは、Fiorano SOA プラットフォームにおけるコマンド ライン ツールを用いて、コンポーネント フローの一括起動などの操作を行う方法について説明するものです。

このガイドブックは、以下のガイドブックで説明されている知識を有していることを前提としています。

- Fiorano SOA プラットフォームの起動方法
- Fiorano SOA プラットフォームのアーキテクチャ概要
- Fiorano オーケストレータによるビジネス プロセス構築の概要 (基礎編)

目次

1 コマンド ライン インタフェース	3
1.1 コマンド ライン ツール	3
1.1.1 Windows の場合	3
1.1.2 Linux/Unix の場合	4
1.2 build.properties ファイル	4
2. コマンド ライン ツールによる target の実行	5
付録 ant について	7

1 コマンドライン インタフェース

Fiorano SOA プラットフォームでは、Studio によるコンポーネント フローの起動、停止以外に、コマンドライン ツールによる起動、停止が行えます。

1.1 コマンドライン ツール

コマンドライン ツールは、スクリプト `cli.bat` (Unix / Linux 版の場合は、`cli.sh`) によって起動できます。

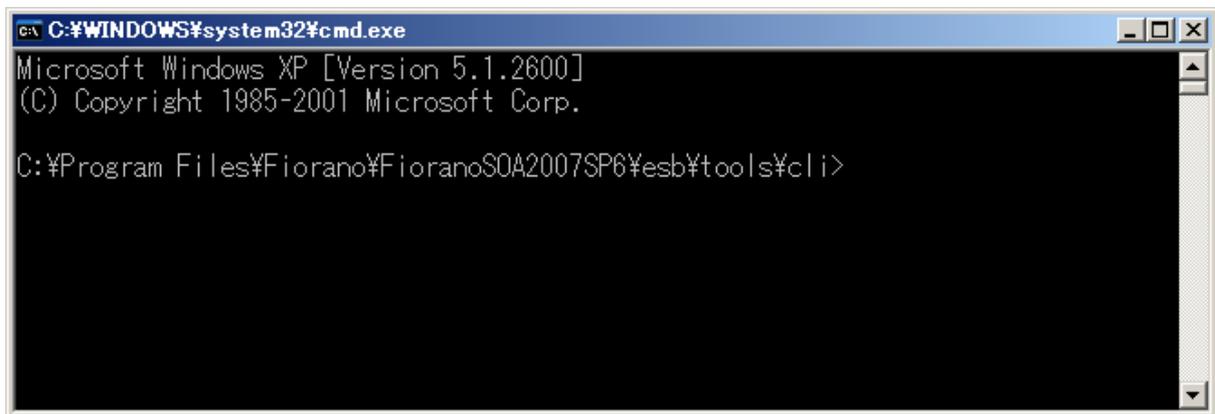
場所

<インストール ディレクトリ>/`esb/tools/cli`

1.1.1 Windows の場合

`cli.bat` ファイルを実行します。

次のキャプチャ画面で示すように Windows の `cmd.exe` が実行され、コマンドの入力待ちの状態となります。



Windows 版におけるコマンドライン ルールでは、`ant` コマンドを入力します。(ant については、付録『ant について』を参照してください。)

```
ant <target name>
```

<target name> の代表的なものには、次のものがあります。

- `launchApps` (複数コンポーネント フローの一括起動)
- `stopApps` (複数コンポーネント フローの一括停止)
- `exportApps` (複数コンポーネント フローの一括エクスポート)
- `importApps` (複数コンポーネント フローに一括インポート)

例えば、複数のコンポーネント フローを一括して起動する場合には、

```
ant launchApps
```

と入力します。

`build.xml` ファイルにすべての `target` 定義されていますので、その他の `target` に何があるか知りたい場合には、このファイルをブラウザなどで閲覧してください。

起動するコンポーネント フローの定義については、『1.2 build.properties』で説明します。

1.1.2 Linux/Unix の場合

Linux / Unix の場合には、cli.sh の起動時に target name を指定します。(target name については、前のセクション『[1.1.1 Windows の場合](#)』を参照してください)

```
cli.sh <target name>
```

1.2 build.properties ファイル

target に対するパラメータ（例えば、launchApps で一括起動するコンポーネント フローのリスト）は、**build.properties** ファイルに設定します。

build.properties には、デフォルトのパラメータ値が設定してありますので、これを変更します。

下の画面キャプチャは、build.properties をテキスト エディタで開いたものです。

```

58 | tryCompile=true↓
59 | SleepTime=10000↓
60 | ↓
61 | #Launch the following applications specified in csv format↓
62 | LAUNCH_APPLICATION_LIST=SIMPLECHAT,WORKLIST_MANAGER↓
63 | ↓
64 | #Stop the following applications specified in csv format↓
65 | STOP_APPLICATION_LIST=SIMPLECHAT,WORKLIST_MANAGER↓
66 | ↓
67 | #migrate parameters↓
68 | EventProcessXMLPath=D:/fioranodev_installer/esb/tools/cli/ORDEREM

```

一括起動するコンポーネント フローの GUID を LAUNCH_APPLICATION_LIST に、カンマで区切って指定します。デフォルトの設定では、SIMPLECHAT と WORKLIST_MANAGER が登録されています。

一括して停止するコンポーネント フローは、STOP_APPLICATION_LIST に指定します。

target name	build.properties
launchApps	LAUNCH_APPLICATION_LIST
stopApps	STOP_APPLICATION_LISR
exportApps	EXPORT_APPLICATION_LIST
importApps	IMPORT_APPLICATION_LIST

2. コマンド ライン ツールによる target の実行

Windows を例に、コマンド ライン ツールによる一括起動および停止の方法を説明します。

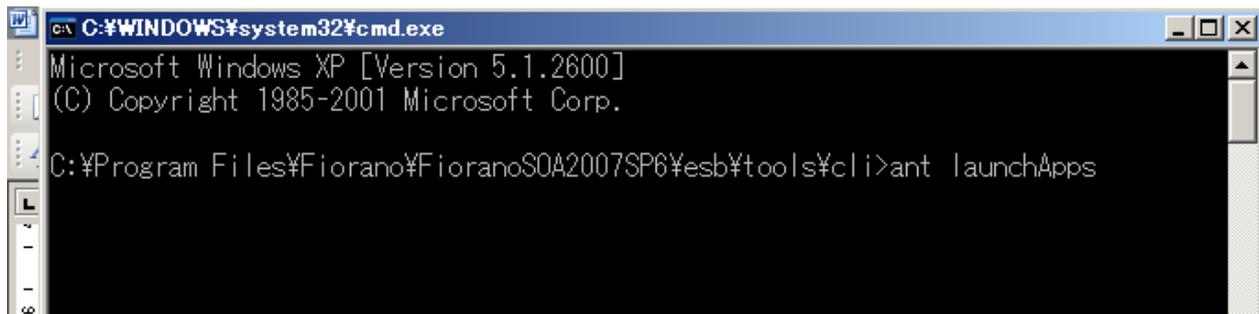
build.properties ファイルの LAUNCH_APPLICATION_LIST と STOP_APPLICATION_LIST に DB_SYNC と DVD_INVENTORY コンポーネント フローを登録します。

```

58 TryCompiling=true↓
59 SleepTime=10000↓
60 ↓
61 #Launch the following applications specified in csv format↓
62 LAUNCH_APPLICATION_LIST=DB_SYNC,DVD_INVENTORY↓
63 ↓
64 #Stop the following applications specified in csv format↓
65 STOP_APPLICATION_LIST=DB_SYNC,DVD_INVENTORY↓
66 ↓
67 #migrate parameters↓

```

コマンド ライン ツールで ant launchApps を実行します。



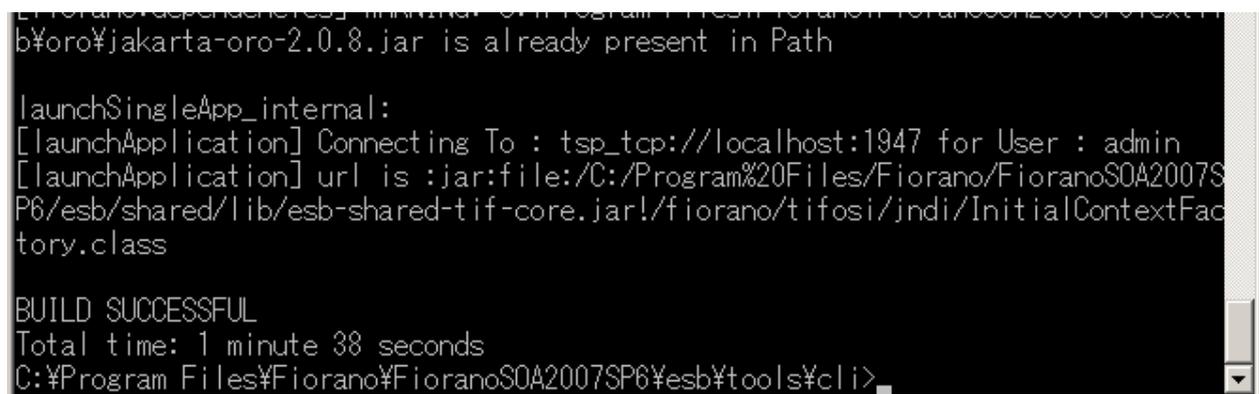
```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Program Files\Fiorano\FioranoSOA2007SP6\esb\tools\cli>ant launchApps

```

次のように BUILD SUCCESSFUL と表示されれば、指定したコンポーネント フローがすべて起動されたことになります。



```

[!fiorano-dependencies] minimal: C:\Program Files\Fiorano\FioranoSOA2007SP6\esb\tools\cli>ant launchApps
b\oro\jakarta-oro-2.0.8.jar is already present in Path

launchSingleApp_internal:
[launchApplication] Connecting To : tsp_tcp://localhost:1947 for User : admin
[launchApplication] url is :jar:file:/C:/Program%20Files/Fiorano/FioranoSOA2007SP6/esb/shared/lib/esb-shared-tif-core.jar!/fiorano/tifosi/jndi/InitialContextFactory.class

BUILD SUCCESSFUL
Total time: 1 minute 38 seconds
C:\Program Files\Fiorano\FioranoSOA2007SP6\esb\tools\cli>

```

コンポーネント フローを停止する場合には、`ant stopApps` を実行します。

```
tory.class  
  
BUILD SUCCESSFUL  
Total time: 1 minute 45 seconds  
C:\Program Files\Fiorano\FioranoSOA2007SP6\esb\tools\cli>ant stopApps
```

次のように BUILD SUCCESSFUL と表示されれば、指定したコンポーネント フローがすべて停止されたことになります

```
oforo+Jakarta-oro-2.0.0.jar is already present in path  
  
stopSingleApp_internal:  
[stopApplication] Connecting To : tsp_tcp://localhost:1947 for User : admin  
[stopApplication] url is :jar:file:/C:/Program%20Files/Fiorano/FioranoSOA2007SP6  
/esb/shared/lib/esb-shared-tif-core.jar!/fiorano/tifosi/jndi/InitialContextFacto  
ry.class  
  
BUILD SUCCESSFUL  
Total time: 1 minute 46 seconds  
C:\Program Files\Fiorano\FioranoSOA2007SP6\esb\tools\cli>
```

付録 ant について

Ant は、Apache Jakarta プロジェクトから提供されている、Java 用のメイク ツールです。Unix のメイク (make) コマンドと同じような機能があります。

Unix の make と同様に、An t は「一連の処理を自動化するためのツール」です。Fiorano SOA プラットフォーム のコマンド ライン ツールは、ant の機能を利用してコンポーネント フローの一括自動起動や停止を実現しています。

Ant の詳細や日本語マニュアルについては、Apache Jakarta プロジェクトの web サイトを参照してください。

<http://www.jajakarta.org/ant/ant-1.6.1/docs/ja/index.html>